

漢文早覚え速答法_補助教材

☑	No.	重要漢字92	読み	意味	例文	例文読み	例文意味
<input type="checkbox"/>	1	嗟乎	ああ	ああ	嗟乎嗟乎。一人固不能獨立。	嗟乎嗟乎(ああああ)。一人固(もと)より独立する能(あた)はず。	ああああ。ひとりではもともと独立することができない。
<input type="checkbox"/>	2	不可勝一	あけて―べからず(たふべからず)	(～しすぎて)～できない	穀不可勝食。	穀(こく)勝(あ)げて食(くら)ふべからず。	穀物が多すぎて食べきれない。
<input type="checkbox"/>	3	不能一	あたはず	～できない	鳴之而不能通其意。	之(これ)に鳴(な)げども其(そ)の意に通ずる能(あた)はず。	この者に鳴いて(訴えて)も彼にわからせることはできない。
<input type="checkbox"/>	4	中	あつ	あてる	百發百中。	百発して百中(あ)つ。	百回射て百回ともあてる(あてた)。
<input type="checkbox"/>	5	與=与	あづかる	参加する	吾不與祭、如不祭。	吾(われ)祭りに与(あづか)らざれば、祭らざるがごとし。	自分で祭りに参加しなければ、祭らないようなものだ。
<input type="checkbox"/>	6	過	あやまつ	まちがう(過失という熟語で理解せよ)	君之謀過矣。	君の謀(はかりごと)過(あやま)てり。	あなたさまの計画はまちがっています。
<input type="checkbox"/>	7	見	あらはる	現れる	情見力屈。	情(じやう)見(あら)はれ力(りき)屈(か)む。	実情が露見し力がなくなった。
<input type="checkbox"/>	8	幾何	いくばくぞ	どれほどだ	孔子居魯得祿幾何。	孔子の魯に居りて祿を得ること幾何ぞ。	孔子は魯国でどれくらい給料をもらっていたのか。
<input type="checkbox"/>	9	諫	いさむ	臣下が君主の誤りを指摘し改善を促す	諫其君之過。	其(その)君(きみ)の過(あやまち)を諫(いさ)む。	その君主の誤りをいさめた。
<input type="checkbox"/>	10	陽	いつはる	～のふりをする	陽不知。	知らざるを陽(いつ)はる。	知らないふりをした。
<input type="checkbox"/>	11	所謂	いはゆる	いわゆる	所謂誠其意者母自欺也。	所謂(いはゆる)其の意を誠(まこと)にすとは自ら欺(たぶ)くこと母(な)きなり。	いわゆる「その意志を誠にする」というのは、自分の良心をごまかすなということである。
<input type="checkbox"/>	12	道	いふ	言う	不道不語。	道(い)はず語(か)らず。	何も言わない。
<input type="checkbox"/>	13	雖	いへども	～とはいっても	雖不敏、請事此語。	不敏なりと雖(いへ)ども、請(まが)ふ此(こ)の語(ことば)を事(こと)とせん。	(私は)愚か者ではございますが、お願いします。このお言葉を大切に守っていかせてください。
<input type="checkbox"/>	14	未一	いまだ―ず	まだ～ない	吾起兵至今未嘗敗北。	吾(われ)兵(へい)を起(おこ)してより今(いま)に至(いた)るまで未(いま)だ嘗(かつ)て敗(た)北(へい)せず。	おれは拳兵してから今に至るまでまだ一度も負けだ嘗(かつ)てない。
<input type="checkbox"/>	15	苟一	いやしくも―ば	かりにも～であれば	苟為後義而先利、不奪不鬻。	苟(いや)しくも義(ぎ)を後(あと)にして利(り)を先(ま)に為(な)さば、奪(うば)はずんば鬻(あ)かず。	かりにも正義を後まわしにして利益を優先すれば、奪いとらなければ満足しない。(徹底的に奪ってしまう)
<input type="checkbox"/>	16	不得一	―えず	～できない	不得以養父母。	以(もつ)て父母(ふぼ)を養(やしな)うことを得(え)ず。	(その財産で)父母を養うことができない。
<input type="checkbox"/>	17	惡	にくむ	にくむ	君子亦有惡乎。	君子(きんし)も亦(また)た惡(にく)むこと有(あ)るか。	君子(理想の人間)にも「憎悪」という感情があるのですか。
<input type="checkbox"/>	18	以爲一	おもへらく―と	～と思う	王喜以爲能勝其任也。	王(わう)喜(よろこ)びて以(もつ)て爲(おも)へらく能(よ)く其(その)任(にん)に勝(た)ふるなりと。	王は喜んで「この男は)その責任を果たすことができる」と思った。
<input type="checkbox"/>	19	凡	およそ	一般に	凡有血氣者莫不尊親。	凡(およ)そ血(けつ)氣(き)有(あ)る者は親(おや)を尊(たつ)とばざるは莫(な)し。	一般に動物はすべて肉親を大事にする。
<input type="checkbox"/>	20	如是	かくのごとくんば	このようであれば	如是也、民歸之、由水之就下沛然。	是(こ)のごとくんば、民(たみ)の之(これ)に歸(かへ)ること、由(な)ほ水(みづ)の下(した)(ひく)きに就(つ)き沛(た)然(ぜん)たるがごとし。	もしこのようであれば、人民がこの国に移住するさまは、まるで水が低いところへドツと流れるよう(に押し寄せ)てしよう。
<input type="checkbox"/>	21	若此	かくのごとくんば	このようであれば	若此、則可與語。	此(こ)のごとくんば、則(すなは)ち與(とも)に語(かた)るべし。	このようであれば、ともに(理想を)語り合うことができる。
<input type="checkbox"/>	22	寡人	くわじん	私(諸侯の自称)	無如寡人之用心者。	寡(わづ)しの心(こころ)を用(もち)ふるに如(ごと)く者は無(な)し。	私の注意深さに及ぶ者はいない。(私が一番注意深い)
<input type="checkbox"/>	23	難	かたし	～が困難だ	少年易老學難成。	少年(せうねん)老(らう)易(やす)く學(まな)ぶ難(がた)し。	若者はすぐ年をとるが、学問はなかなかきわめられない。
<input type="checkbox"/>	24	易	かふ	とりかえる	試曷地以処、平心而度之、吾果無一失乎。	試(こころ)み(こ)ろに地(ち)を易(か)へて以(もつ)て処(を)り、心(こころ)を平(へい)かにて之(これ)を度(はか)れば、吾(われ)果(はた)して一(いつ)失(しつ)無(な)からんや。	試しに場所を変えて住み、心を平穏にしてこれ(自分の行動)を考えると自分は果たして一つの落度もなかったであろうか。
<input type="checkbox"/>	25	期年	きねん	丸一年	不期年千里馬至者三。	期(き)年(ねん)ならずして千里(せんり)の馬(うま)に至(いた)る者(もの)三(さん)。	一年たないうちに、千里の馬(一日に千里を走るという名馬)が三頭も到着した。
<input type="checkbox"/>	26	與=与	くみす	参加する	百姓與之則安。	百姓(ひやくしやう)之(これ)に與(くみ)するときは則(すなは)ち安(やす)し。	人民がこれに参加するときは政治が安定する。
<input type="checkbox"/>	27	蓋	けだし	思うに	蓋人心之靈莫不有知。	蓋(けだ)し人(ひと)心(こころ)之(これ)の靈(たま)莫(な)く有(あ)らざるは莫(な)し。	思うに人間の精神にはみんな知能が宿っている。